

下水道使用料金を統一 基本料金8立米・966円 受益者加入分担金は原則据え置き。

各種公共料金が統一される中で未調整だった下水道の使用料金と加入分担金について条例が提出されました。同じ下水道でも旧6町村で個別浄化槽、コミュニティプラント、農業集落排水、公共下水道など補助金を受ける省庁・事業種類や実施時期で名前や費用に違いがありました。これまで使用料については5人槽とか7人槽とか処理層の大きさによって定めたところ、基本料と家族数で利用料金を決めていたところとさまざまでした。この度、使用料審議会の答申を受けて「水道の使用量に応じて料金が決定される方式に統一されることになりました。」

基本料金は水道8立米まで**966円**。その上は使用量に応じて負担していただくものです。

また、**加入分担金**については有識者検討委員会で協議されましたが各地域とも8割近くまで整備が進んでいることを踏まえ統一は困難と結論。但し掛合町ではこれまで負担金を徴収してい

なかつたため、大東町の条例規則を適用して徴収することになりました。

吉田「枋の実寮」を小規模多機能型施設に衣替え

「住み慣れた地域で人間関係を断たずに暮らしたい。」

小規模多機能型施設とは「小さい」「泊まり」「訪問」「住まい」を地域で実現する小さいながらも多彩な機能を持つ施設です。登録定員25名、デイサービス12名、短期入所3名程度。「ケアポート吉田」と一緒に(社)吉田福祉会が運営します。来年4月運営開始予定。



高年齢者の新しい安心拠点として幅広い活動が期待されます。

ご存知ですか？ 深野温泉スタンド

斐伊川は椿橋のほとりに深野温泉スタンドがあるのをご存知でしょうか。掘削深さ七

米、温度二十五度、PH八・五九、無色透明で低張性アルカリ性低温泉です。神経痛・関節痛・五十肩・疲労回復などに効用があるといわれています。「ケアポートよしだ」の浴室及びプールに利用されています。また夏季には田井小プールにも引かれています。

平成五年建設計画当時、「ケアポート」にぜひ温泉プールを」という熱い地域の願いに、日野原重明先生と共に当時建設委員だった「雲南身体教育医学研究所」産みの親・東大大学院・武藤芳輝教授の強力なお力添えで実現したものです。当時、掘削深さ千米、湯温四十度の温泉を目標に敷地内で挑戦するも失敗に終わり現在地に移動して掘り当てました。幅広くご利用戴く為源泉に温泉スタンド施設を設けたものです。水道が未普及当時、



旧道椿橋の袂。24時間無料で。高使用持ち帰り自宅に無駄なく大切にしまししょう。みんなの宝物です。

議員の定数等検討委員会

これまで6回委員会を開催。選挙区選挙については雲南全市一区で選挙することが決まりました。議員新定数は現在鋭意協議中。人口5万人未満の法定上限数は26名です。現在は合併特例で選挙区選挙、38名となつています。次期は少なくとも12名が削減されます。合併協定書では「将来において社会情勢の推移によって定数を変更する必要があるときは新市の議会においてこれを定める」としてあります。これまで法定数実施が削減かで激しい議論が行われていました。今年中に結論が出されます。

編集後記 長い間失礼しました。猛暑から中秋、お月見・コウタケの季節です。安倍さんから福田政権に時の流れは年々早くなるようです。眞